



MOYAI  
ANNUAL REPORT  
2020



認定NPO法人  
自立生活サポートセンター・もやい  
2020年度 | 年次報告書



MOYAI ANNUAL REPORT 2020

## コロナ禍での支援に奔走した 2020年

大西 連

認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい 理事長

2020年の〈もやい〉は、コロナ禍での支援に尽力した1年だったと言えるでしょう。

コロナ関係での相談が初めて来たのは3月のこと。政府の自粛要請により、延期や中止になったイベント等で働いていた方からのSOSでした。

その後、小中高校等での一斉休校、4月には「緊急事態宣言」が発令されました。飲食店への営業自粛等もあり、文字通り街から「人が消える」状況に。東京都からネットカフェ等へも自粛要請が出され、路頭に迷う方も続出しました。

〈もやい〉では2020年3月に緊急理事会をおこない感染防止対策を徹底すること、そのうえで、緊急の支援活動を展開することを決定しました。

4月以降、新宿ごはんプラスと合同で、毎週土曜日に新宿都庁下での食料品配布と相談会の活動を始めたほか、WEBフォームでの相談受付を臨時的におこなったり、シェルターの開設をしたりと、この1年、試行錯誤を続けてきました。

コロナ禍で、仕事を失ったり、収入が減少したりしてしまった方が多くうまれています。現場の肌感覚では、リーマンショック以上の未曾有の深刻度であるとも感じています。

実際の例として、土曜日の新宿都庁下での食料品配布と相談会では、食料を受け取りに来られる方が大幅に増加し、2020年4月時点では100人ほどだった人数が、2021年に入ると350人をこえました。

コロナ禍も一年以上が経過していますが、社会の状況が良くなったとは、到底言えません。〈もやい〉もスタッフ・ボランティア丸となって現場の支援に注力してきましたが、感染終息の目途がたたないなかで、先が見えない状況が続いています。いままさに、私たちNPOのような「共助」の活動のみならず、「公助」による支援が必要とされていることは言うまでもありません。「公助」の役割の機能の強化や展開を求めて、提言等の活動もおこなっています。

2020年度は例年に比べて本当に多くの方からご支援を賜りました。さまざまな形で活動を支えていただき、助けられた日々でした。

一方で、私たちの活動はまだまだ終わりません。今後の〈もやい〉の活動にも、ご注目していただけますとうれしいです。

## 01 都庁下での活動



新型コロナウイルスの影響が深刻化し始めた2020年4月より、毎週土曜日に都庁下での食料品配布と相談会をはじめました。もともと新宿ごはんプラスという団体が隔週で同様の活動をしていましたが、そこに〈もやい〉が加わり毎週の活動となっています。来場者数は毎週350人前後にのぼり、コロナ禍のなかで多くの、また多様な方が困りごとを抱えていることを実感しています。都庁下での活動は2021年度も引き続きおこなっています。

## 02 国会参考人招致



2021年1月27日の参議院予算委員会に理事長・大西連が参考人として招致され、コロナ禍での生活困窮者支援の現状と、政策的な課題について答弁をおこないました。全閣僚参加の予算委員会に現場の人間が招致されるのは極めて稀なことです。TV中継が入るなかで、支援現場の状況について、生活保護の扶養照会の緩和について、「貸付」ではなく「現金給付」で支援をするべき、など、いくつかの論点について提言をおこないました。

## 03 クラウドファンディング

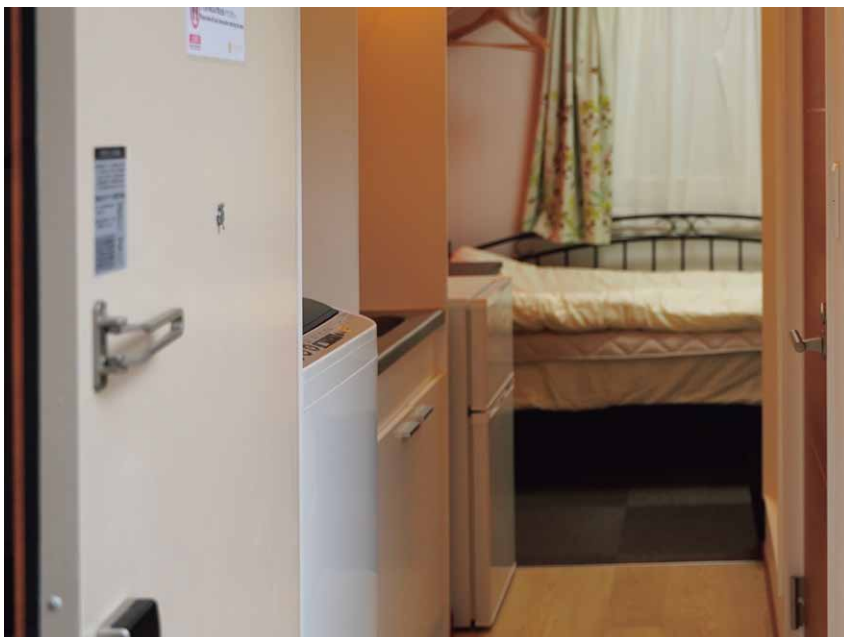


コロナ禍の影響で生活に困窮される方が増加するなかで、〈もやい〉では相談活動を拡大するため二回のクラウドファンディングをおこないました。第1回(2020年3月~4月)は775名の方から総額10,959,000円を、第2回(2020年12月~2021年1月)は965名の方から総額9,161,836円をご寄付いただきました。クラウドファンディングを通して多くの方が〈もやい〉の活動を目にとめ、ご支援くださったことを心から感謝しております。



SHELTER PROJECT

政策提言を視野にシェルター事業を



〈もやい〉では2020年9月よりシェルター事業を開始しました。2021年3月までに9名の方が利用され、すでにアパートに入居された方もいらっしゃいます。住まいを失い知人宅を転々としていた方や、家族との関係が悪く実家にいられない方などが、生活保護制度を利用しアパートに入るまでの滞在場所として活用されています。今後は〈もやい〉での実績をもとに、安全かつ安心して生活できるシェルターを行政の責任で整備していくよう求めていきます。

### 生活相談・支援事業

都庁下での食料配布・相談会を新たに実施しました。このため、相談件数は例年よりもさらに多くなり、また例年以上に多様なバックグラウンドをもつ方が相談に訪れています。土曜日の相談を始めたことにより、ボランティアとして活動に参加する仲間も多くなり、2021年度も協力して相談・支援を展開していきたいと考えています。



生活保護申請の同行件数

約120件

相談件数

約4,500件

都庁下での配食延べ数

10,000食以上

相談者に占める30代以下の割合:約3割  
相談者に占める女性の割合:約2割

### 入居支援事業

連帯保証人

439  
世帯

緊急連絡先

893  
世帯



////////// 住まい結び(不動産仲介) //////////

相談件数

約160件

成立件数

40件

コロナ禍で外出や人と会う機会がなくなり、孤立を深めていらっしゃるとの声をよく聞きました。保証人・緊急連絡先事業では、感染防止のために郵送での契約手続をせざるを得ないケースもあり、直接お会いできない中でもつながりを感じられる対応を手探りしてきました。不動産仲介事業では、コロナ禍の影響で仕事とともに住まいを失ってしまった方からの相談も多く寄せられ、対応に奔走した一年でした。

## 交流事業

新型コロナウイルスの影響で活動の大幅な縮小を余儀なくされました。ただ一緒にご飯を食べる、話をする。そんな簡単なことが一番難しい一年でした。そんな中でもコーヒー焙煎を細々続け、感染対策を徹底した完全予約制のプレサロンを実験的に行うなど、コロナ禍における新たな交流の形を模索した一年でもありました。



### 居場所づくり

実施回数 **1**回 / 参加者 **22**名

### はたらく場づくり

[コーヒー焙煎・農作業]

実施回数

参加者

**22**回 **158**名

(延べ)

【サロン・敬老会等イベントは実施なし】

## 広報・啓発事業

取材対応

**150**件以上

〈もやい〉セミナー参加者

**250**名以上

政策提言実績

[厚生労働省] [総務省] [東京都]

**2**件 **1**件 **2**件

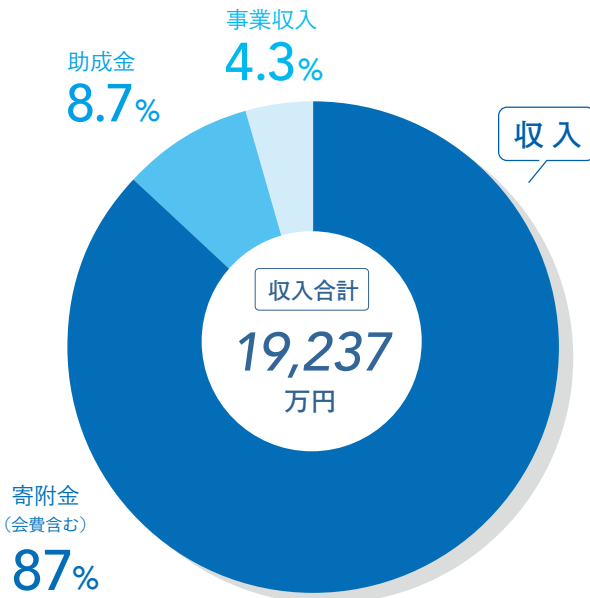


毎年実施してきた貧困問題基礎講座等の対面でのイベントは中止せざるを得ませんでした。オンラインツールを用いて多くの方にセミナーに参加していただきました。また、他団体と共同で「みんなのお悩み解決ハンドブック」を発行しました。こちらは〈もやい〉ホームページにて無料でご覧いただけます。

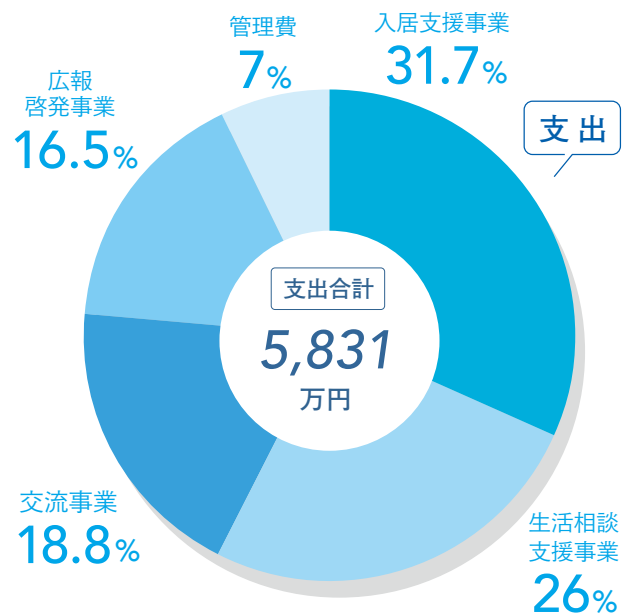
## 2020年度 会計報告

2020年度は、前年度の5倍以上ものご寄附が集まりました。この一年、新型コロナウイルスの影響で生活に困窮する方が急増し、メディアでもその窮状や〈もやい〉の支援活動が取り上げられる機会が多くありました。寄附の増加はこうした状況のなかで〈もやい〉の活動を知り、思いを寄せてくださった方が多くいらっしゃったためと考えております。

また、助成金収入も大幅な増加となりました。コロナ禍における貧困問題への社会的関心の高まりを受け、困窮者支援の分野に助成金を出す財団等が増えていることが背景にあると考えられます。たくさんのご支援に感謝するとともに、みなさまの思いをしっかりと形にできるよう、より一層活動を充実させていきたいと思っております。



		(円)	
収入合計	192,374,339	事業収益	8,326,582
寄附(会費含む)	167,379,710	その他	1,075
助成金	16,666,972		



		(円)	
支出合計	58,306,875	交流事業	10,989,485
		入居支援事業	18,469,105
		広報・啓発事業	9,610,368
		生活相談・支援事業	15,139,438
		管理部門	4,098,481

※按分経費の端数処理の関係で、内訳の計と支出合計は一致しません

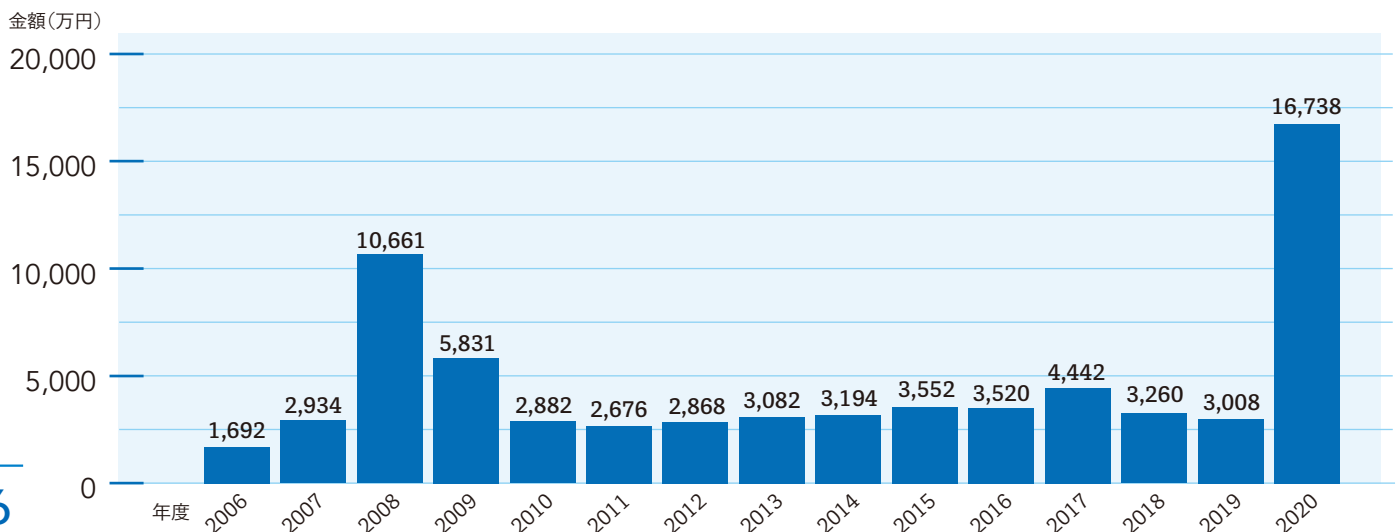
### 助成金取得実績

公益財団法人キリン福祉財団／新宿区社会福祉協議会  
NPO法人抱樸／休眠預金活用事業 他

### 物資支援等

JPモルガン／パルシステム連合会／パルシステム東京  
Amazonほしいものリストからの支援／他多数

### 寄附金額の年次推移 (2006年度以降)



## 新聞

- ▶〈コロナ緊急事態〉困窮する人 支援の輪を ネットで資金募る 新宿のNPO「もやい」／東京新聞
- ▶新型コロナ 困窮者に選手村開放を NPOが都に署名5万4000筆／毎日新聞
- ▶10万円給付、ホームレスの受給促進へ…生活再建のきっかけに／読売新聞
- ▶都庁が無情のコーン再び設置 「これでは弱者の敵だ」 困窮者はよけながら食品受け取り／東京新聞

## 雑誌

- ▶一人では冬も越せない 長引くコロナ「12月」に支援の期限／AERA
- ▶女性ホームレス死亡事件で露呈した「歪み」「迷惑な存在」社会が記号化／AERA
- ▶親の介護で生活が破綻、54歳でホームレスに 貧困の入り口となる選択とは／週刊朝日
- ▶コロナ禍で参加者が2.5倍増 家なき中年も集う相談会に密着／SPA

## テレビ・ラジオ

- ▶「生活困難になる人がじわじわ増えてくる」自立支援NPOの相談現場で何が起きているのか／日テレ
- ▶新型コロナと音の風景／NHKノーナレ
- ▶雨の西新宿で食料配布 過去最多177人／日テレ
- ▶仕事が消えた～コロナショック最前線～／NHK BS1スペシャル
- ▶荻上チキSession-22 特集「コロナ以後、社会をどう設計していくか？」  
～貧困問題にはどのような支援が必要なのか、生存権を改めて考える」／TBSラジオ

## WEBメディア

- ▶コロナ禍で30～40代のホームレスが増え始めた。支援現場に危機感、都は1000室確保を宣言  
／BuzzFeedNews
- ▶「国民一律の給付金再支給を」国会で訴えた大西連氏に聞く／日刊ゲンダイDIGITAL

他掲載多数

## もやいの活動をご支援ください

〈もやい〉の活動は、多くのみなさまからのご寄附で支えられています。日々〈もやい〉に届くSOSに応じていくためには、安定した財政基盤が欠かせません。この社会から貧困問題がなくなる日まで、私たちの取り組みにぜひみなさまの力をお貸しください！

※〈もやい〉への寄附金（相続財産・遺贈寄附含む）は税額控除の対象になります。

### 寄附の方法

#### 【単発の寄附】

- ▶クレジットカード決済
- ▶口座へのお振込み  
郵便振替口座  
銀行口座（三菱UFJ銀行）  
ゆうちょ銀行口座

#### 【継続的な寄附】

- ▶クレジットカード決済
- ▶銀行口座から引き落とし



寄附に関するお問い合わせ：TEL 03-6265-0363（火・水・金 14～17時、祝日休み） <https://www.npomoyai.or.jp/kifu>



## 2020年度もやいスタッフメンバー

左から：東あさか（入居支援）／伊藤かおり（入居支援）  
土田功光（入居支援）／加藤歩（事務局長・生活相談・広報）  
結城翼（生活相談・広報）／大西連（理事長）  
小泉幸子（事務・経理）／澤田洋子（入居支援）  
小倉健二（入居支援）／松下千夏（交流）  
田中悠輝（生活相談・広報・交流）



認定NPO法人  
自立生活サポートセンター・もやい  
のミッション

新たな暮らしの基盤と、新たな人間関係を。  
ひとりひとりの再出発を応援するために、  
4つの「つながり」事業を展開しています。



**01** 入居支援事業  
新生活の基盤づくりに「つながり」を。  
 アパート入居にむけた支援  不動産仲介事業

**02** 生活相談・支援事業  
生活の困り事を相談できる「つながり」を。  
 もやいほっとライン  面接相談  制度利用のサポート

**03** 交流事業  
おたがいに信頼し合える「つながり」を。  
 イベント開催  居場所づくり

**04** 広報・啓発事業  
社会と貧困問題に「つながり」を。  
 公的機関への提言  情報発信  講演

認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい

〒162-0801東京都新宿区山吹町362 みどりビル 2F

TEL 03-6265-0137(火曜日12時～18時・金曜日11時～17時・祝日はお休み)

FAX 03-6265-0307 info@npomoyai.or.jp <https://www.npomoyai.or.jp/>